



九州漁業調整事務所広報ページ よこわ



～振興課の仕事～

水産業強化支援事業や水産環境整備事業の推進に関すること



①水産業強化支援事業・水産業競争力強化緊急施設整備事業

漁業所得の向上を目指す「浜の活力再生プラン」、「浜の活力再生広域プラン」に位置付けられた共同利用施設（荷捌き所や鮮度保持施設）の整備や、地域一帯のデジタル化などを通じて、水産業の強化に取り組む管内各県への指導・助言を行っています。

②水産環境整備事業

魚礁・増殖礁の整備や海底耕耘などの事業を通じて、水産環境整備の推進に取り組む管内各県への指導・助言を行っています。



写真：魚礁 (出典:写真AC(<https://www.photo-ac.com/>))

有明海における水産関係の調査に関すること



有明海のノリ漁場（令和5年 福岡県柳川沖）

有明海の再生に向け、有明海沿岸4県が行う技術開発事業及び調査に関する指導・助言を行っています。

有明海では、アサリやタイラギ等の貝類や、魚類、甲殻類、藻類の増養殖技術の開発などの事業が行われています。



母貝団地に移植したタイラギ



アサリ

赤潮に関すること

赤潮とは、プランクトンの異常発生により海や湖沼の水が変色する現象のことを指します。

九州では毎年赤潮による被害が発生しており、夏季は八代海や橘湾等で養殖魚のへい死被害が、冬季は主に有明海でノリの栄養塩類不足による色落ち被害が発生しています。

振興課では、九州内の赤潮について情報収集を行うとともに、九州海域の赤潮の発生状況を取りまとめたものをHPに掲載しています。

(掲載ページ)

九州海域の赤潮：九州漁業調整事務所

(https://www.jfa.maff.go.jp/kyusyu/sigen/akashio_kyusyu.html)

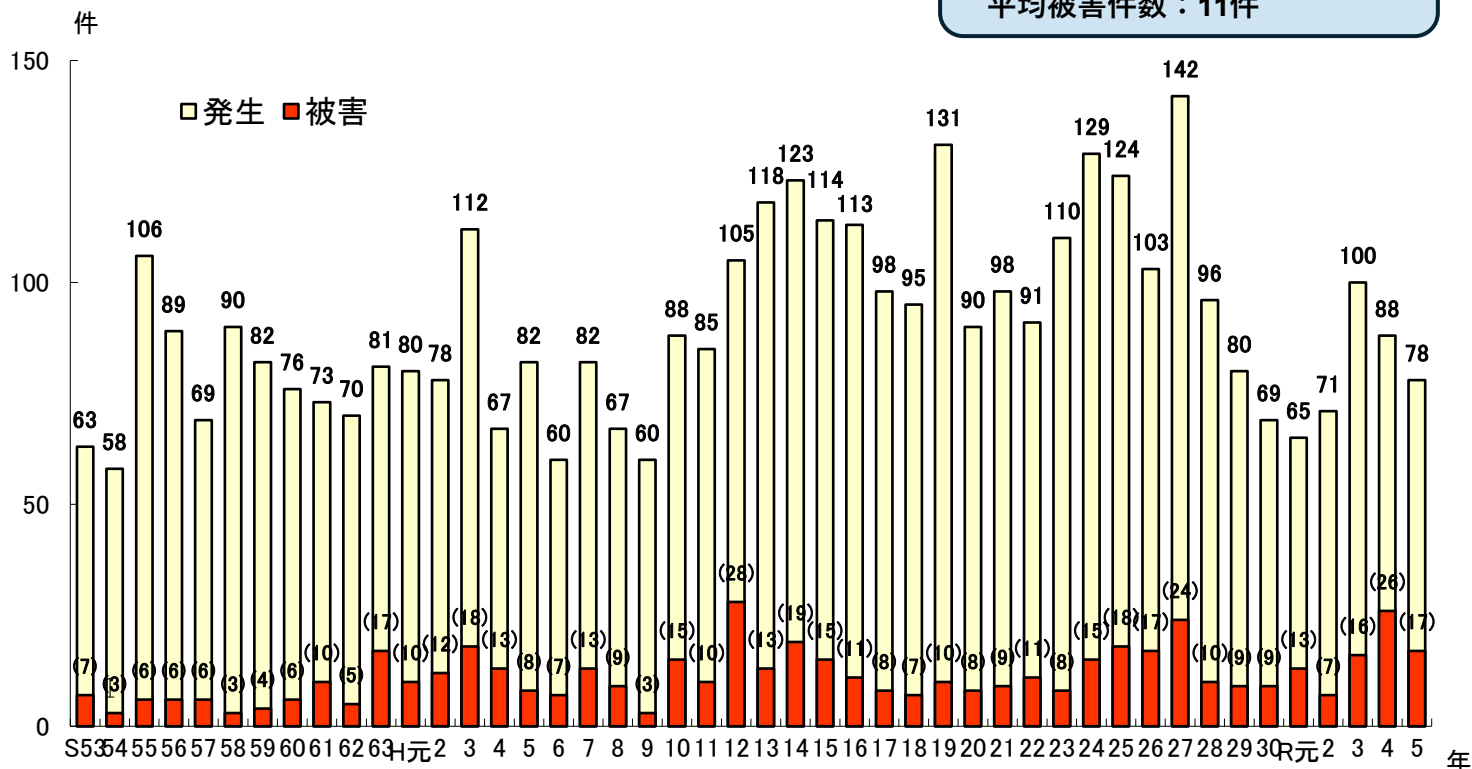


写真：赤潮による着色（令和2年長崎県式見海岸）
提供：長崎県

(参考) 年次別 九州海域の赤潮状況

昭和53年～令和5年の赤潮発生件数・被害件数

昭和53年～令和5年(46年間)の
平均発生件数：90件
平均被害件数：11件



注：被害件数は発生件数の内数

「令和5年九州海域の赤潮」より作成